

グループに属する生徒の特徴	生きる力の五要素					各教科・領域とのつながり
	①自ら考え判断すること	②必要な情報を得ること	③意思などを効果的に表現すること	④人と協調すること	⑤健康や体力や諸機能の維持・向上	
A ・周囲の人と言葉でコミュニケーションを取りながら作業をする。 ・言葉や写真カードで指示されたことを理解して行動できる。 ・指示を待ってから行動してしまふ。 ・よく知った大人には自分から問うが、友達や周りの大人とコミュニケーションを取るのが難しい。	・目標を設定し、それに対する評価をすることができる。 ・長期的な見通しを持ち、現在の活動内容を理解して作業することができる。 ・出来具合を判断しながら作業することができる。 ・周囲の状況を見て、自分から仕事をみつけることができる。	・わからないことを他者に尋ねることができる ・手順書を見たり、口頭による指示を理解して活動したりすることができる。 ・数字で示された回数、個数を理解して、活動することができる。 ・必要な器具や道具を言葉や手順書、実物で知ることができる。	・自分から挨拶や返事をしたり、「できます」といえることができる。 ・わからないことを他者に尋ねることができる。	・次の作業へのつながりなど、「お願ひします」など、言葉で活動する。 ・友達同士の小グループで活動する。	・安全に気を配り、決められた時間、作業に取り組むことができる。 ・作業を繰り返し行い、技術の定着を図る。 ・体調の変化に気付き、自分から他者に伝えることができる。	・国語（文字、写真、絵、手順書の理解、活用） ・数学（数、時間の理解、活用） ・自立活動（環境の把握、コミュニケーション）
B ・写真、実物、身近な言葉や指示を理解して、取り組もうとする。 ・周囲の環境（人、教室環境、教材）によって、取り組みに差が出る生徒もいる。 ・理解はあるが手をうまく動かさない生徒もいる。	・目標に応じ、工程を理解して、最後まで活動し、自分の力でやることを増やす。 ・準備、片付けを物の場所を理解して、教師と一緒に（見守りの元）行う。 ・できた物を次の工程まで運ぶ。	・必要な道具について写真や言葉、実物で知る。 ・工程表や実物を手掛かりに、次の活動を知る。 ・今日の目標を（作業量、回数や時間）を視覚的手掛かりで知る。	・教師の促しを受け、支援の依頼や、報告を言葉やジェスチャー、カードを渡すことで行う。	・友達や教師と一緒に作業を行うことができる。 ・準備、片付けの場面で、友達に物を受け渡すことができる。	・決められた時間（個々の目標に応じて）集中して作業をする。	・国語（写真、絵カード、手順書の理解） ・数学（数、量の理解）
C ・大人と一緒に活動する。 ・動きに制限があったり、自分の意思で動くことが難しかったりする生徒もいる。 ・体調管理の面で、配慮を必要とする生徒が多い。	・代替機器を使用し、自分の動きを最大限に生かし、作業を進める。 ・できたものを見て、できたことや「終わり」がわかる。	・実演や道具を見て、何をやるかがわかる。 ・音や光で、手掛かりを示し、何をやるかがわかる。	・できた物を見て、大人と一緒に喜び、達成感を味わう。 ・要求を発声や視線、動きで大人に伝える。	・大人の支援を受け入れる。 ・友達の活動に興味を示す。	・集中する時間を短時間に設定することで、健康を維持して作業する。	・自立活動（環境の把握、コミュニケーション、身体の動き）

主体性・自己決定

支援ツールの活用

幅広いねらい＝経験の拡大

高等部との違い／学習グループ間の整合性

各学習グループの「ねらい」の見直し

■ 主担当者が設定したねらいを見直す

授業担当者による協議

平成 29 年度 中学部 「作業学習」 ねらい一覧					
グループに属する生徒の特徴	生きる力の五要素				
	①自ら考え判断すること	②必要な情報を得ること	③意思などを効果的に表現すること	④人と協働すること	⑤健康や体力や運動の維持・向上
A	・問題の入り口と背景を正確に把握し、必要に応じて情報を得る。 ・作業の進め方を理解し、必要なことを理解して作業することができる。 ・指示や指示の順序に従って作業することができる。 ・作業の進捗を確認し、必要に応じて作業の進め方を調整することができる。	・目標を設定し、それに対する評価をすることができる。 ・作業の進め方を理解し、必要なことを理解して作業することができる。 ・指示や指示の順序に従って作業することができる。 ・作業の進捗を確認し、必要に応じて作業の進め方を調整することができる。	・自分の考えや意見を表現することができる。 ・自分の考えや意見を表現することができる。 ・自分の考えや意見を表現することができる。 ・自分の考えや意見を表現することができる。	・決めた作業へのつながりを感じ、作業に取り組むことができる。 ・決めた作業へのつながりを感じ、作業に取り組むことができる。 ・決めた作業へのつながりを感じ、作業に取り組むことができる。 ・決めた作業へのつながりを感じ、作業に取り組むことができる。	・健康や体力や運動の維持・向上を図ることができる。 ・健康や体力や運動の維持・向上を図ることができる。 ・健康や体力や運動の維持・向上を図ることができる。 ・健康や体力や運動の維持・向上を図ることができる。
B	・作業の進め方を理解し、必要なことを理解して作業することができる。 ・指示や指示の順序に従って作業することができる。 ・作業の進捗を確認し、必要に応じて作業の進め方を調整することができる。	・目標を設定し、それに対する評価をすることができる。 ・作業の進め方を理解し、必要なことを理解して作業することができる。 ・指示や指示の順序に従って作業することができる。 ・作業の進捗を確認し、必要に応じて作業の進め方を調整することができる。	・自分の考えや意見を表現することができる。 ・自分の考えや意見を表現することができる。 ・自分の考えや意見を表現することができる。 ・自分の考えや意見を表現することができる。	・決めた作業へのつながりを感じ、作業に取り組むことができる。 ・決めた作業へのつながりを感じ、作業に取り組むことができる。 ・決めた作業へのつながりを感じ、作業に取り組むことができる。 ・決めた作業へのつながりを感じ、作業に取り組むことができる。	・健康や体力や運動の維持・向上を図ることができる。 ・健康や体力や運動の維持・向上を図ることができる。 ・健康や体力や運動の維持・向上を図ることができる。 ・健康や体力や運動の維持・向上を図ることができる。
C	・作業の進め方を理解し、必要なことを理解して作業することができる。 ・指示や指示の順序に従って作業することができる。 ・作業の進捗を確認し、必要に応じて作業の進め方を調整することができる。	・目標を設定し、それに対する評価をすることができる。 ・作業の進め方を理解し、必要なことを理解して作業することができる。 ・指示や指示の順序に従って作業することができる。 ・作業の進捗を確認し、必要に応じて作業の進め方を調整することができる。	・自分の考えや意見を表現することができる。 ・自分の考えや意見を表現することができる。 ・自分の考えや意見を表現することができる。 ・自分の考えや意見を表現することができる。	・決めた作業へのつながりを感じ、作業に取り組むことができる。 ・決めた作業へのつながりを感じ、作業に取り組むことができる。 ・決めた作業へのつながりを感じ、作業に取り組むことができる。 ・決めた作業へのつながりを感じ、作業に取り組むことができる。	・健康や体力や運動の維持・向上を図ることができる。 ・健康や体力や運動の維持・向上を図ることができる。 ・健康や体力や運動の維持・向上を図ることができる。 ・健康や体力や運動の維持・向上を図ることができる。

支援ツールの活用

幅広いねらい＝経験の拡大

授業での
気づき



学習集団としてのねらい

感覚と運動の
高次化理論

個々の生徒のねらい
や学習活動を照らす

「ねらい」の根拠

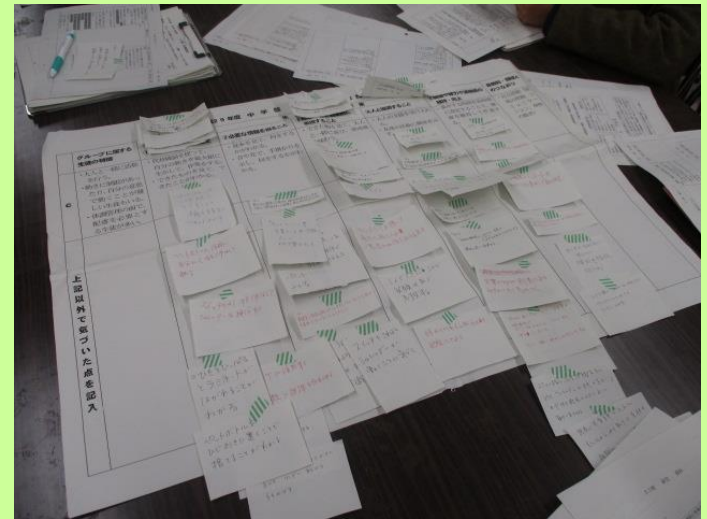
「発達系統表」

単元のねらい・生徒の
ねらいへ反映させる

発達を踏まえた新たな「ねらい」

個と集団のねらいのすり合わせ

このねらいを作業学習
のねらいに加えた方が
いいかも...



「ねらい」のBefote・Afterを比較すると

平成 29 年度 中学部 「作業学習」 エコ活動班 ねらい

	グループに属する生徒の特徴	生きる力の五要素					各教科・領域とのつながり
		①自ら考え判断すること	②必要な情報を得ること	③意思などを効果的に表現すること	④人と協調すること	⑤健康や体力や諸機能の維持・向上	
従来	・大人と一緒に活動する。 ・動きに制限があったり、自分の意思で動くことが難しかったりする生徒もいる。 ・体調管理の面で、配慮を必要とする生徒が多い。	・代替機器を使用し、自分の動きを最大限に生かし、作業を進める。 →⑤に移動 ・できたものを見て、できたことや「終わり」がわかる。	・実演の道目を見て、何を	・できた物を見て、お人し	・お人の支援を受け入れ	・集中する時間を短時間	・自立活動（環
追加・変更したねらい	・大人と一緒に活動する。 ・身体の動きに関する課題が多い。 ・覚醒や体調管理面で配慮を要する生徒が多い。 ・繰り返して行うことで活動に慣れてきたり、理解したりできる。 ・人からの働き掛けを受け入れたり、外界に気がついたりすることが課題の生徒が多い。 ・意思の表出を高めることで誰とでもかかわれるようになってほしい。	・自分で～するの取組も行う（見る／手を伸ばす等）。 ・「終わり」がわかって、～する（教師を見る／表情が変わる／手を伸ばす等）。 ・次に起こることを予測して～する（教師を見る／目的のものに手を伸ばす等）。 ・繰り返して、～しようとする（認知面）。 ・決められた場所や位置に～する（〇〇に入れる／〇〇に行く等）。	・提示されたもの、教師の実演に注目する。 ・周囲の様子に目を向け、自分もやってみようとする。 ・道具や実演を見て、予測したり、何をしたりするのかわかる。 ・「始まり」と「終わり」がわかる。 ・自分が～したことで、〇〇になったことに気づく（因果関係がわかる）。 ・音や光、振動など、外界の変化に気が付く。	・できたことや終わったことの喜びを表情や動きで表現する。 ・活動に対して期待感をもって取り組む。 ・称賛されたことが分かり、笑顔を見せる。 ・繰り返して、～しようとする（意欲面）。 ・教師に自分の気持ちを発声や視線、動きで伝える。 ・普段、関わることの少ない教師（大人）に気持ちを伝えようとする。 ・自分の好きなものに手を伸ばしたり、提示されたものから選択したりする。	・教師からの働き掛けに応じて～（視線を向ける・ハイタッチ等）する。 ・教師の援助を受けながら、一緒に～（手を伸ばす・〇〇に触る等）する。 ・相手の動きに合わせて操作する。 ・普段、関わることの少ない教師（大人）と一緒に活動に取り組む。 ・友達の活動している様子に注目（見る・聞く等）する。	・見難状態を保ち、〇分程度、作業に参加する。 ・〇分程度、集中して（注目・やりとり・覚醒等）作業をする。 ・代替機器を使用し、自分ができる動きを生かし、作業を進める。 ・作業に必要な動き（触る・つかむ・手を伸ばす・力を抜いて動かす等）の向上を図る。 ・作業をするために適した姿勢を保持する。	・自立活動 ・生活（小1段） ・国語（小1段） ・算数（小1段）

より具体化された「ねらい」に

注：各教師から集めた付箋紙（個々の生徒のねらい）を「感覚と運動の高次化」理論の第Ⅰ層の特徴を照らし、ねらいを具体化・追記した。

まずは、「関連シート」を見る

中学部 作業学習 エコ班

「生きる力の5要素」における個別目標との関連

中2

「本校の生きる力の5要素に関わるCグループの作業学習で年間を通して付けたい力」における、単元3の個別目標に該当する部分を示す。

	生 き る 力 の 五 要 素					各教科・領域とのつながり
グループに属する生徒の特徴	①自ら考え判断すること	②必要な情報を得ること	③意思などを効果的に表現すること	④人と協調すること	⑤健康や体力や諸機能の維持・向上	
・大人と一緒に活動する。 ・身体の動きに関する課題が多い。 ・覚醒や体調管理面で配慮を要する生徒が多い。 ・繰り返して行うことで活動に慣れてきたり、理解したりできる。 ・人からの働き掛けを受け入れたら、外界に気がついていたりすることが課題の生徒が多い。 ・意思の表出を高めることで誰とでもかかわれるようになってほしい。	・自ら～するor取り組もうとする（見る／手を伸ばす等）。 ・「終わり」がわかって、～する（教師を見る／表情が変わる／手を伸ばす等）。 ・次に試みることを予測して～する（教師を見る／目的のものに手を伸ばす等）。 ・繰り返して、～しようとする（認知面）。 ・決められた場所や位置に～する（〇〇に入れる／〇〇に行く等）。	・提示されたものや教師の実演に注目する。 ・周囲の様子に目を向け、自分もやってみようとする。 ・道具や実演を見て、予測したり、何をしたりするのかわかる。 ・「始まり」と「終わり」がわかる。 ・自分が～したことで、〇〇になったことに気づく（因果関係がわかる）。 ・音や光、振動など、外界の変化に気がつく。	・できたことや終わったことの喜びを表情や動きで表現する。 ・活動に対して期待感をもって取り組む。 ・称賛されたことが分かり、笑顔を見せる。 ・繰り返して、～しようとする（意欲面）。 ・教師に自分の気持ちを発声や視線、動きで伝える。 ・普段、関わることの少ない教師（大人）に気持ちを伝えようとする。 ・自分の好きなものに手を伸ばしたり、提示されたものから選択したりする。	・教師からの働き掛けに応じて～（視線を向ける・ハイタッチ等）する。 ・教師の援助を受けながら、一緒に～（手を伸ばす・〇〇に触る等）する。 ・相手の動きに合わせて操作する。 ・普段、関わることの少ない教師（大人）と一緒に活動に取り組む。 ・友達と活動している様子に注目（見る・聞く等）する。	・覚醒状態を保ち、〇分程度、作業に参加する。 ・〇分程度、集中して（注目・やりとり・覚醒等）作業をする。 ・代替機器を使用し、自分ができる動きを生かし、作業を進める。 ・作業に必要な動き（触る・つかむ・手を伸ばす・力を抜いて動かす等）の向上を図る。 ・作業をするために適した姿勢を保持する。	・自立活動 ・生活（小1段） ・国語（小1段） ・算数（小1段）

各生徒の単元や本時のねらいが立てやすい！